

前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 03 安定した行政情報システム基盤の確保

施 策 : 02 番号制度の円滑な導入

施策担当職・氏名 情報システム課総括主査 鈴木 信

2. 施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 番号法制度対応において、平成29年度開始予定の情報連携に向けてシステム改修及びテスト作業等を実施しました。 番号法制度に合わせたセキュリティ対策の抜本的強化のため、庁内LANからインターネット接続を分離し、岩手県情報セキュリティクラウドに接続する等、各種セキュリティ対策を実施しました。 住民情報システムのハードウェア更新のため、住基系仮想基盤を拡張する等の情報システムの最適化を実施しました。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 番号制度の円滑な導入のため、情報連携に向けたシステム改修及びテスト作業等の実施。 情報システム最適化の継続的取り組み。 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報連携に向けて、システムの追加改修及び各種テスト作業等を実施しました。 仮想化技術を前提としたセキュリティ対策強化や、住民情報システムのハードウェア更新のための仮想基盤拡張等を実施

3. 施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<ul style="list-style-type: none"> 番号法制度に関連する仕様の追加や変更、情報連携スケジュールの変更 子育てワンストップサービス等、マイナポータル利用を前提とした国の新規事業の発表 仮想化技術の技術的進化と市場の拡大 サイバー攻撃の脅威の一般化

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	基本施策達成のため、引き続き同一内容の施策の実施が必要となることから、見直しの必要はありません。

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 番号制度及び番号制度を利用したサービスの拡充や各種セキュリティ対策方針など、国のIT戦略が施策展開に大きく影響を及ぼすことから、今後も継続して国の動向を注視します。 仮想化技術等の新たな技術情報の収集に努めることにより、情報システムの最適化を図りつつ、セキュリティを含めたシステムの安定化を継続的に図っていく必要があります。 <p>【引継事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国のIT戦略を踏まえた、市の情報化戦略・方針及び推進体制の検討 仮想化技術の進化等、最新技術の情報収集 セキュリティの継続的な確保

